

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 胃瘻カテーテルの監視培養を中心とした臨床データの集計』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 栄養治療センター 職位・氏名 部長・教授 鷺澤 尚宏

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院栄養治療センターでは、胃腸の感染症を早期に発見するために行われた過去の検査結果を分析することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、医療における栄養管理の精度の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2018年4月～2021年10月までに東邦大学医療センター大森病院において、胃瘻カテーテルの交換時に監視培養検査を受けられた方の検査結果と臨床経過等の診療記録内容を解析します。ご本人が認知症等、未成年者、または死亡されている場合はご本人に代わってお答えいただける方が以下についてご検討いただければ幸いです。

【研究に用いられる試料・情報】

胃瘻カテーテルの培養結果と一般的な臨床データに関する診療記録

【研究組織】

施設名: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表医師: 鷺澤尚宏 役職: 教授、部長

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

【利益相反について】

研究担当者において発生する客観性のある研究を行う責任と経済的利益関係との間の対立・抵触関係を利益相反(COI: Conflicts Of Interest)と呼びます。本研究に関して、研究担当者の舘田一博は、旭化成、IHMA、興研、杏林、デンカ株式会社、第一三共、日本 BD、大日本住友、旭化成ファーマとの間に利益相反状態が発生していますが、データ解析には直接関与せず、関与する必要がある場合には、複数の研究者が相互にデータをチェックできる体制で行うこととしています。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター

職位・氏名 部長・教授 鷺澤尚宏

電話 03-3762-4151 内線 3515